

令和 7 年第 2 回定例会 9 月定期議会 教育民生常任委員会調査報告書

令和 7 年 10 月 14 日

教育民生常任委員会

教育民生常任委員会 活動状況

〔報告期間〕 令和7年6月9日～令和7年9月8日

日時	活動区分	内 容	頁
6. 9 (月) 14:35～14:58	検 討	《委員のみ》 ■ 6月定期議会中における委員会日程について ■ 陳情書等の取り扱いについて 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員7名	—
6. 17 (火) 13:00～15:38	所管事務調査①	【請願審査】 請願第2号 登米市新図書館整備に関する請願書 ■ 紹介議員による請願内容の説明、参考人招致 〔参考人〕 とめ市里山ようちえん 佐藤 直也氏 〔紹介議員〕 氏家議員、佐々木好博議員、曾根議員 ■ 新図書館整備における市の考え方について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員7名 教育部 小野寺教育長ほか14名	—
6. 17 (火) 15:54～16:28	委員間討議①	《委員のみ》 ■ 「請願第2号 登米市新図書館整備に関する請願書」について ※参考人招致等のふりかえり ■ 年間活動計画について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員7名	—
6. 24 (火) 14:40～15:10	委員間討議②	《委員のみ》 ■ 「請願第2号 登米市新図書館整備に関する請願書」について ※参考人招致等のふりかえり 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員7名	—
6. 30 (月) 10:38～10:50 11:35～11:47	検 討	《委員のみ》 ■ 岩手・宮城県際市町議会議長会提出議案（案）について ■ 年間活動計画について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員7名	—
7. 16 (水) 13:00～15:50	所管事務調査② （現地調査）	《教育部》 ■ 旧善王寺小学校保管の民俗資料について ■ 放課後遊びプロジェクトについて（佐沼小学校） 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員5名 教育部 新田部長ほか7名 佐沼小学校関係者2名	4

日時	活動区分	内 容	頁
8. 6 (水) 10:00～11:54	所管事務調査③	《市民生活部》 ■こども誰でも通園制度について ■子育て世帯訪問支援事業について ■1 か月児及び5 歳児健康診査事業について ■登米市定額減税補足給付金（不足額給付）事業について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員 6 名 市民生活部 幡江部長ほか 10 名	—
8. 6 (水) 11:55～12:15	検 討	《委員のみ》 ■年間活動計画について ■宮城県市議会議長会秋季定期総会に係る提出議案について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員 6 名	—
9. 4 (木) 13:30～16:04	所管事務調査④	《市民生活部、教育部、医療局》 ■第三次登米市総合計画（案）について 〔出席者〕 岩淵委員長ほか委員 5 名 市民生活部 幡江部長ほか 12 名 教育部 新田部長ほか 7 名 医療局 高橋次長ほか 5 名	—

教育民生常任委員会 活動概要

【所管事務調査②（現地調査）】

1. 日 時：令和7年7月16日（水） 午後1時00分～午後3時50分

2. 場 所：旧善王寺小学校、登米市立佐沼小学校

3. 事 件：①旧善王寺小学校保管の民俗資料について
②放課後遊びプロジェクトについて

4. 参 加 者：委員長 岩淵 正宏、副委員長 遠藤 真理子
委 員 杵渕 政博、浅田 琢哉、佐藤 千賀子、關 孝

（教育委員会）教育部長 新田 公和、教育部次長兼教育総務課長 阿部 信広、
教育部次長兼学校教育管理監 鹿野 征美、
学校教育課長 猪股 勝徳、文化財文化振興課長 沼田 芳明、
文化財文化振興課長補佐兼文化財文化振興係長 阿部 礼子、
文化財文化振興課 主査 二階堂 悟、
教育総務課長補佐（総合調整） 堀内 貴光

（佐沼小学校）校長 成瀬 陽子、教頭 犬飼 敦

（議会事務局）主査 小野寺 崇

5. 概 要：（別紙のとおり）

6. 所 見：（別紙のとおり）

①旧善王寺小学校保管の民俗資料について（現地調査）

（概 要）

旧善王寺小学校に保管されている民俗資料の状況等を確認するため、現地調査を実施したものの。

1 これまでの経緯

昭和 40～50 年代にかけて、合併前の各町域において民俗資料の収集を行い、町の民俗資料館や倉庫などで保管していた。合併後、市内各所に保管場所が分散しており、また施設の老朽化に伴い管理が困難になってきたため、南方歴史民俗資料館所蔵以外の民俗資料について、平成 26 年度に旧善王寺小学校へ搬入し保管している。

2 集約前の保管場所

長沼倉庫、旧登米地域広域行政事務組合迫消防署登米分署庁舎、登米町水防倉庫、旧嵯峨立小学校校舎、中田民俗資料館(旧新井田小学校体育館)、豊里町民俗資料展示場

3 分類別の資料点数（平成 26 年度移送時）

大分類	中分類	分類計
1. 衣食住	衣	218
	食	735
	住	439
2. 生産・生業	自然物採集	6
	農耕	557
	山樵	45
	採鉱・冶金	3
	漁撈	51
	狩猟	14
	養蚕	119
	畜産	79
	染・織	191
	手細工	43
	諸職	29
3. 交通・運輸・通信	交通・運輸・通信	167
4. 交易	交易	71
5. 社会生活	社会生活	83
6. 信仰	信仰	45
7. 民俗知識	民俗知識	97
8-1. 民俗	民俗芸能	9
8-2. 競技・娯楽・遊戯	競技・娯楽・遊戯	91
9. 人の一生（通過儀礼）	人の一生（通過儀礼）	41
10. 年中行事	年中行事	1
11. 戦事関係	戦事関係	81
12. その他	その他	288
13. 分類不明		63
計		3,566

4 民俗資料の文化財指定

保管資料のうち、養蚕・製糸関係資料について、令和7年3月19日付けで「登米地方の養蚕・製糸用具」として新たに登米市指定有形民俗文化財に指定している。



（所 見）

旧善王寺小学校に保管されている民俗資料の状況等を確認するため、現地調査を実施した。

同校には、地域住民から寄贈された農耕具や生活用具、教育資料など多岐にわたる民具類が保管・展示されており、いずれも地域住民の暮らしの変遷を物語る資料として非常に価値が高く、また、昭和初期から戦後にかけての生活様式を伝える資料群は、教育的な視点からも若い世代等が郷土理解を深めるための非常に有用な資料であることを確認した。

一方で、資料の一部には経年劣化が見られる上、乱雑に収納されている部分もあった。今後、適切な保存環境や設備のデジタル化による保全が今後の課題であり、こうした貴重な地域遺産を将来世代に継承していくためには、市と地域が連携し、保存及び活用体制の構築を図る必要がある。

また、養蚕・製糸関係の資料が令和7年3月19日付けで「登米地方養蚕・製糸用具」として新たに登米市指定有形民俗文化財に指定されたことから、さらなる情報発信を図り、市内外の博物館等への展示を通して、積極的な文化財の活用を進められたい。

②放課後遊びプロジェクトについて（現地調査）

（概 要）

登米市立佐沼小学校で同校学校運営協議会が主催している「放課後遊びプロジェクト」の実施状況を確認するため、現地調査を実施したもの。

1 目的及び内容

令和6年度に学校運営協議会での協議により、地域と学校・子どもたちのかかわり・つながりを深める事業として、月に1回、放課後の佐沼小学校を開放し、地域の人たちと子どもたちが思いきり遊べるプロジェクトを実施している。児童の参加は任意で、10種類以上の遊び・体験メニューを「達人」と称した地域の方々が提供するもの。



(所 見)

令和6年9月から佐沼小学校運営協議会主催でスタートした、放課後の時間を利用した体験学習「放課後遊びプロジェクト」を現地調査した。

遊びを提供する「達人」の一人でもあるPTAの役員から、「地域の大人が入り学校が楽しい場所になる。地域とのかかわりの中で子どもを育てるプロジェクトである」と話された。小学校からの説明では、地域の方々の熱意やボランティアの力が素晴らしく、子供にとって魅力、地域の大人とのかかわり、感謝の気持ちなどの「よさ」が挙げられ、不登校児童が多い学校の手助けになる活動であると示された。また一方で、ボランティアの保護者が行う200人を超える児童の遊び・体験メニューへの振り分けや人数調整といった準備の大変さや実行委員会の負担といった課題の言及もあった。

委員からは、携わる方の募集方法・周知方法の取り組みなどの質疑があり、昨年は有志だけであったが、知り合いや交友関係から少しずつ人数が増えてきたとの説明であった。

この放課後遊びプロジェクトの目的は、保護者が就労などで昼間不在の小学生に対し、安全な放課後の生活の場を提供し、健全な育成を図ることである。運動やお絵描きなど様々なメニューを用意し、児童が放課後の時間を楽しく過ごせるように工夫されている。本市では、全ての小中学校でコミュニティ・スクールが導入されている。「学校と地域がつながる」をテーマに、地域全体で子どもの成長を支えていく仕組みづくりの1つとして、全市的な取り組みとなるよう広がり期待したい。